

# 農場経営のスタートは繁殖から

動物用医薬品 要指示医薬品 生物由来製品

製品名	スイゴナン <sup>®</sup>		製造販売元	株式会社インターベツト
製法及び性状	妊馬血清から抽出・精製した血清性腺刺激ホルモン400IUと妊娠尿から抽出・精製したヒト絨毛性腺刺激ホルモン200IU及び安定剤を加え、小分け分注した凍結乾燥粉末剤であり、これに溶解用液が添付されている。			
成分及び分量	1バイアル中 主 剤 血清性腺刺激ホルモン……………400IU 主 剤 ヒト絨毛性腺刺激ホルモン……………200IU (絨毛腺刺激ホルモンとして……………600IU) 安定剤 D-マンニトール……………5.0mg 安定剤 パラオキシ安息香酸メチル……………0.5mg	緩衝剤 リン酸水素二ナトリウム二水和物……………0.315mg 緩衝剤 リン酸二水素ナトリウム二水和物……………0.33mg 添付溶解用液(5mL中) 緩衝剤 リン酸水素二ナトリウム二水和物……………3.15mg 緩衝剤 リン酸二水素ナトリウム二水和物……………3.3mg 溶 剤 注射用水……………適量		
効能又は効果	分娩後の発情誘起及び未経産豚の発情誘起			
用法及び用量	雌豚1頭当たり、本剤1バイアルの内容物を添付の溶解用液に溶かし、耳根部筋肉内に注射する。			
使用上の注意	<p><b>【一般的な注意】</b></p> <p>(1)本剤は要指示医薬品であるので獣医師等の処方せん・指示により使用すること。 (2)本剤は効能・効果において定められた目的にのみ使用すること。 (3)本剤は定められた用法・用量を厳守すること。</p> <p><b>【使用者に対する注意】</b></p> <p>(1)誤って注射された者は、直ちに医師の診察を受けること。 (2)妊娠中の女性に、注射作業を行わせないこと。</p> <p><b>【豚に対する注意】</b></p> <p><b>1 制限事項</b> (1)本剤の投与前には健康状態について検査し、使用の可否を決めること。 (2)本剤の投与後は飼養管理に十分注意し、数日間は安静に保ち、豚に対するストレスの軽減を図ること。</p> <p><b>2 副作用</b> (1)本剤の2倍用量を投与した場合、発情の遅延及びバラツキ、発情誘起率、受胎率及び分娩率の低下、産子数の減少、卵巣嚢腫の誘発等の副作用が認められることがあるため、定められた用量を守り、過剰投与しないこと。 (2)本剤の投与により過敏反応が現れる場合がある。 (3)副作用が認められた場合には、速やかに獣医師の診察を受けること。</p> <p><b>3 適用上の注意</b> (1)本剤は6か月齢以上かつ体重85kg以上の豚に用いること。 (2)初回の交配は体重120kg以上より行うこと。 (3)繁殖雌豚に暑熱ストレスを与えないよう必要に応じて送風、散水等による防暑対策を行うこと。</p>			
	<p><b>【取扱い上の注意】</b></p> <p>(1)使用直前に溶解し、溶解後は速やかに使用すること。 (2)本剤を廃棄する際は、環境や水系を汚染しないように注意し、地方公共団体条例等に準じて処分すること。 (3)使用済みの容器は、地方公共団体条例等に準じて処分すること。 (4)使用済みの注射針は、針回収用の専用容器に入れること。針回収用の容器の廃棄は、産業廃棄物収集運搬業及び産業廃棄物処分業の許可を有した業者に委託すること。</p> <p><b>【保管上の注意】</b></p> <p>(1)小児の手の届かないところに保管すること。 (2)本剤の保管は直射日光、高温又は凍結を避けること。 (3)誤用を避け、品質を保持するため、他の容器に入れかえないこと。</p>			
貯法及び有効期間	遮光して、冷所に保存する。3年			
包装	5バイアル(5頭分)/溶解用液5バイアル			

劇 動物用医薬品 要指示医薬品

製品名	プラネート <sup>®</sup>	発売元	株式会社インターベツト	製造販売元	ナカセ医薬品株式会社
成分及び分量	本品1mL中 クロプロステノールナトリウム 0.092mg (クロプロステノールとして 0.0875mg)				
効能又は効果	豚：分娩誘発				
用法及び用量	本剤は1頭当たり2mLを妊娠末期(112日又は113日目)に1回筋肉内に注射する。				
使用上の注意	<p><b>【一般的な注意】</b></p> <p>(1)本剤は要指示医薬品であるので獣医師等の処方せん・指示により使用すること。 (2)本剤は効能・効果において定められた目的にのみ使用すること。 (3)本剤は定められた用法・用量を厳守すること。 (4)本剤は、「使用基準」の定めるところにより使用すること。</p> <p><b>【使用者に対する注意】</b></p> <p>(1)誤って注射された者は、直ちに医師の診察を受けること。 (2)本剤は皮膚から吸収されるので、皮膚に付着した場合は直ちに水洗いすること。 (3)妊娠中の女性、喘息患者、気管支その他呼吸器系に障害のある者に、注射作業を行わせないこと。</p> <p><b>【豚に対する注意】</b></p> <p><b>1 制限事項</b> (1)分娩予定日を確実に把握して投与すること。</p>				
	<p><b>2 副作用</b> (1)副作用が認められた場合には、速やかに獣医師の診察を受けること。</p> <p><b>3 適用上の注意</b> (1)注射器具は滅菌されたものを使用すること。</p> <p><b>【取扱い上の注意】</b></p> <p>(1)使用期限までに使用すること。 (2)使用時には、ゴム栓をエタノール綿等で拭き拭すること。 (3)本剤を分割使用の場合は、速やかに使用すること。 (4)使用済みの容器は、地方公共団体条例等に準じて処分すること。 (5)本剤を廃棄する際は、環境や水系を汚染しないように注意し、地方公共団体条例等に準じて処分すること。</p> <p><b>【保管上の注意】</b></p> <p>(1)小児の手の届かないところに保管すること。 (2)本剤の保管は直射日光及び高温を避けること。</p>				
<p>注意：本剤は薬事法第83条の4の規定に基づき上記の用法及び用量を含めて使用者が遵守すべき基準が定められた動物用医薬品ですので、使用対象動物(豚)について上記の用法及び用量並びに次の使用禁止期間を遵守してください。 豚：食用に供するためにと殺す前7日間</p>					
区分	劇薬	貯法	遮光した密封容器		
有効期間	3年間	包装	20mLバイアル		

連絡先：株式会社インターベツト  
キャトル&スワイン事業部  
東京都千代田区九段北1-13-12 〒102-8667  
TEL：03-6272-0770 FAX：03-6238-9080



2013年7月作成



年間離乳頭数 1頭 **UP** へ挑戦してみませんか?

皆様の生産性改善のために

具体的には…

- ・ 受胎率の改善
- ・ 産子数の増加

詳細は中面の内容をご覧ください。



The Science of Healthier Animals



## なぜ繁殖成績の改善が必要なのでしょう？



### 農場経営の基本となるところだからです

#### モデルケース

母豚 100 頭一貫、母豚回転数 2.3、1 腹あたり 10 頭離乳、離乳後事故率 10% の農場

##### 1. 離乳後事故率を 1% 改善した場合

母豚 100 頭 × 2.3 回転 × 10 頭 / 腹 / 母豚 × 事故率 1% 改善 = **23 頭増加 / 年**

##### 2. 受胎率を改善し、0.1 回転増加した場合

母豚 100 頭 × 0.1 回転数増加 × 10 頭 / 腹 / 母豚 × 90% = **90 頭増加 / 年**

##### 3. 産子数を増やし、1 腹 / 母豚あたり 0.1 頭増えた場合

母豚 100 頭 × 2.3 回転 × 0.1 頭 / 腹 / 母豚増加 × 90% = **21 頭増加 / 年**

繁殖成績によりモデルケースの 2, 3 が影響します！

### 改善ポイントは？

#### 1 受胎率を改善する

- ✓ 発情を発見し、授精適期に確実に交配を行う
- ✓ 卵巣静止の豚を少なくする
  - 発情をしっかり確実に誘起する

#### 2 産子数を増加させる

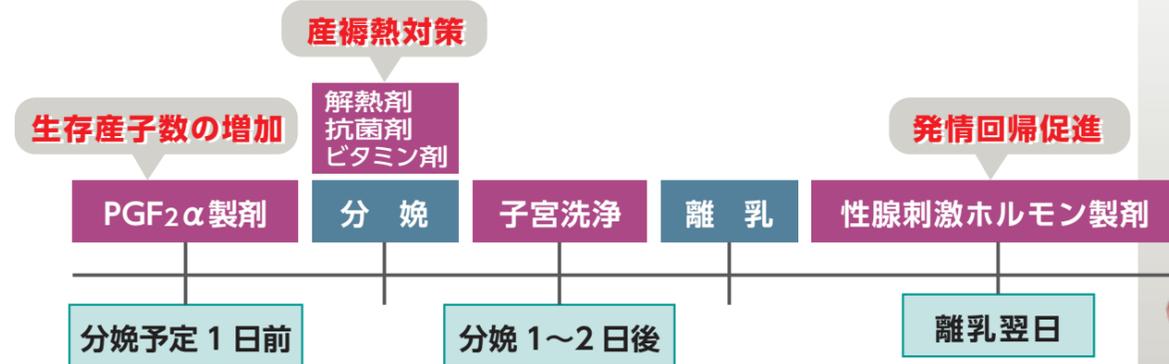
- ✓ 子宮へ着床する胚を増やす → 分娩後の子宮の回復
  - 哺乳期間の確保と分娩から哺乳中の母豚管理
  - 看護分娩の実施

#### 3 分娩の事故を少なくする

- ✓ 介護分娩を実施する



## 分娩前後の母豚プログラム例



次の交配に向けて子宮の環境を整えましょう！

### 繁殖に関する Q & A

Q1: 分娩後の子宮洗浄は必要でしょうか？

A1: 鳥取県家畜保健所の小谷先生の報告によると、分娩翌日、後産排出後に 0.3% ヨード液 1L で子宮洗浄を行ったところ、産子数が増加したとの報告があります。手間はかかりますが、繁殖成績の改善方法の一つと考えられます。

Q2: 若産歴の母豚の発情回帰が遅れることがありますが、なぜでしょうか？

A2: 若産歴の母豚は、まだ体もできておらず、卵巣の働きも不安定です。宮崎大学の報告によると、特に夏場の初産豚では卵巣静止になっている豚が 40% 存在していました。

Q3: 受胎率を改善するためには、どうしたらよいでしょうか？

A3: 発情を確実に見つけ、受精適期で交配をすることが大切です。母豚は発情期間の約 2/3 時点で排卵するため、最初から交配回数を決めるのではなく発情持続を確認しながら交配するのが良いでしょう。さらに、最終交配翌日の発情の有無の確認も必要です。また、母豚の BCS (ボディコンディションスコア) も発情回帰日数に影響しますので、母豚の飼養管理も大切になります。

Q4: 離乳後 8 日経っても発情回帰しません。どうしてでしょうか？

A4: 卵巣に問題があるか、または鈍性発情で発情を見逃していたのかもしれませんが。前者の場合は、治療を検討する必要がありますが、鈍性発情の場合は、次回の発情をよく観察してください。また、まれに哺乳中に発情が来ている母豚がいますので、その場合は、あと数日よく観察する必要があります。

Q5: スイゴナンの効果効果は「分娩後の発情誘起及び未経産豚の発情誘起」ですが、発情を誘起することによるメリットは？

A5: 発情を誘起することによって発情期を確実に見つけることができれば、より適切な時期に交配することが可能となります。その結果として、受胎率の改善につながると考えています。

Q6: プラネートの効果効果は「分娩誘発」ですが、分娩を誘発することによって分娩後の事故を少なくすることができるのでしょうか？

A6: 分娩のタイミングを観察可能な日中に調整することで介護分娩が可能となり、分娩時の事故による子豚の損耗が少なくなると考えています。

